

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## トーア再保険株式会社（証券コード：-）

### 【据置】

長期発行体格付	AA+
格付の見通し	安定的
保険金支払能力格付	AA+
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- 国内唯一の総合再保険専門会社。主要株主である国内の元受損害保険各社との関係を背景に安定的な事業基盤を築いている。国内の「コア再保険者」として、比較的集中度の高い国内自然災害にかかるリスクの引き受けが避けられないことから、リスク分散や地域分散、財務基盤の安定化を図るため、海外損害再保険事業や国内外の生命再保険事業を戦略的に強化してきた。欧米やアジアにも事業展開しており、北米に The Toa Reinsurance Company of America（TRA）、スイスに The Toa 21st Century Reinsurance Company Ltd.（TRE）などのグループ会社を有する。当社の発行体格付は、国内における堅固な事業基盤に加えて、リスク対比でみた資本の充実度などのストックベースの評価を強く反映している。一方で、収益性の低下が格付の下押し要因となっているが、当社は引受シェアの削減を含め従前よりかなり踏み込んだ内容の収益改善策に取り組んでおり、JCRはこれらの成果を見守っていく余地はあると考えている。
- 当社は、事業ポートフォリオの多様化に向けて取り組んできたが、自然災害の頻発化・激甚化、大口事故の発生、コロナ関連の支払保険金、米国賠償責任保険分野におけるリザーブ強化など、経営環境の悪化を受けて、連結ベースのコンバインド・レシオがここ数年 100%超で高止まりしている。収益性の改善に向けて、再保険料率の引き上げ、引受条件の厳格化、引受リスク量の削減などによる引受ポートフォリオの再構築を進めている。また、TRA および TRE の利益水準が低下していることから、海外子会社や海外支店の事業運営に対するグリップをいっそう強め、グループガバナンスを強化している。一方、国内外で展開している生命再保険事業は、死亡リスクに加え医療・がんなど第三分野リスクも取り込むことで、グループの収益に寄与している。サイバーリスクや再生可能エネルギー関連など新たな収益機会を捉える取り組みも進めている。これらの施策の成果や成長分野の拡大により、リスクの種類や所在地域の分散の効いた事業ポートフォリオの構築を進めるとともに、収益の安定性を確保できるかにも注目していく。
- 自己資本は、自然災害の影響を考慮しても各種リスクに対して十分な余裕度を確保しており、財務の健全性は高い。中期経営計画において「実効的な ERM 態勢の実現」を掲げ、資本・リスク・リターンバランスを適切にコントロールすることで健全性を維持しつつ、収益性を向上させることを目指している。当社は、海外事業を含むグループベースでリスクアペタイトに基づく事業運営を行っているが、足元の事業環境は変化が大きいと見られ、保険引受リスク管理の重要性が増していると JCR はみている。

（担当）宮尾 知浩・阿知波 聖人

### ■格付対象

発行体：トーア再保険株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA+	安定的
保険金支払能力	AA+	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年8月7日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩  
主任格付アナリスト：宮尾 知浩
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「損害保険」(2013年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) トーア再保険株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル